

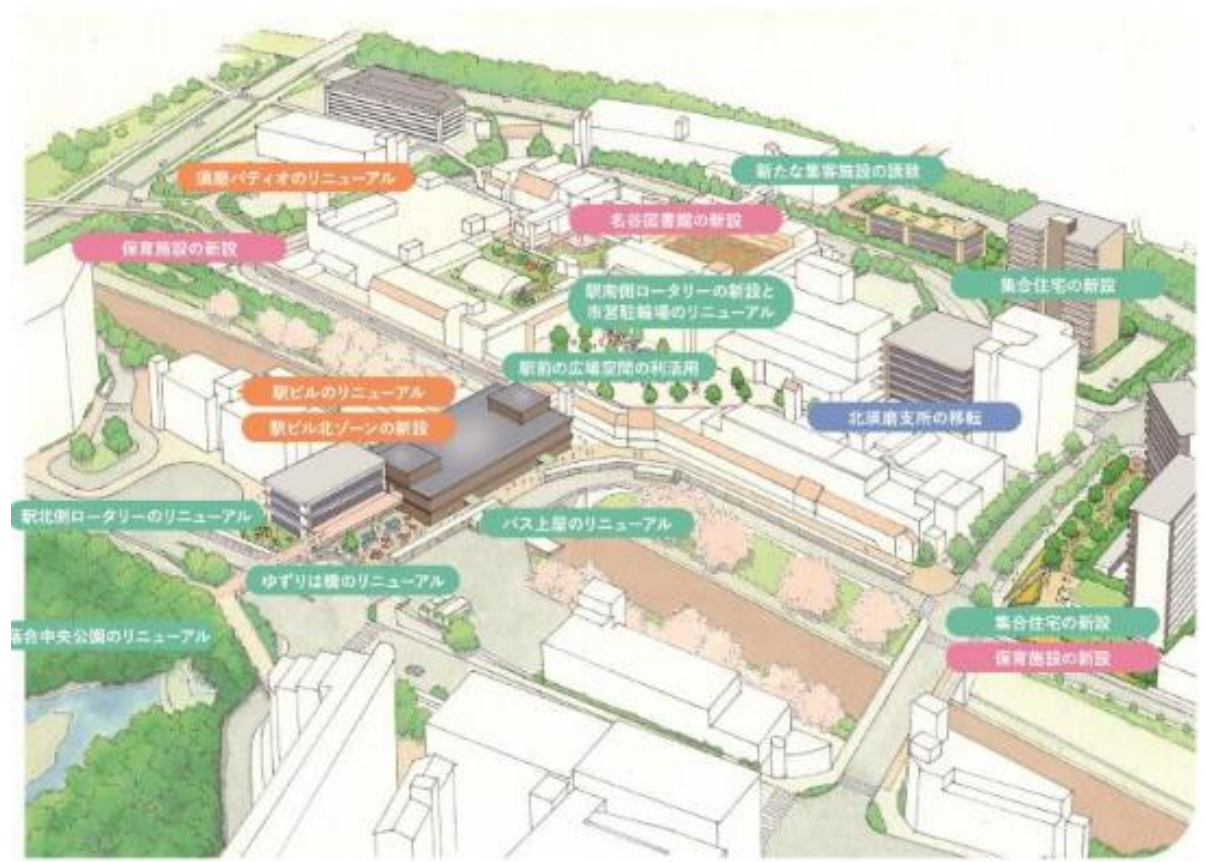
# 公園の再整備計画等について

事例：大規模公園    王子公園  
          身近な公園    若松公園

# 背景 最近のまちづくり再編の動き



神戸都心・ウォーターフロント再開発  
(生田川公園、磯上公園)



各駅前再開発 名谷駅  
(落合中央公園)

# 位置付け

緑の基本計画

身近な公園に関しては  
KOBEPARKリノベーション

大規模公園に関しては  
大規模公園ビジョン

まちの再編に合わせて公園も再編することを位置付け



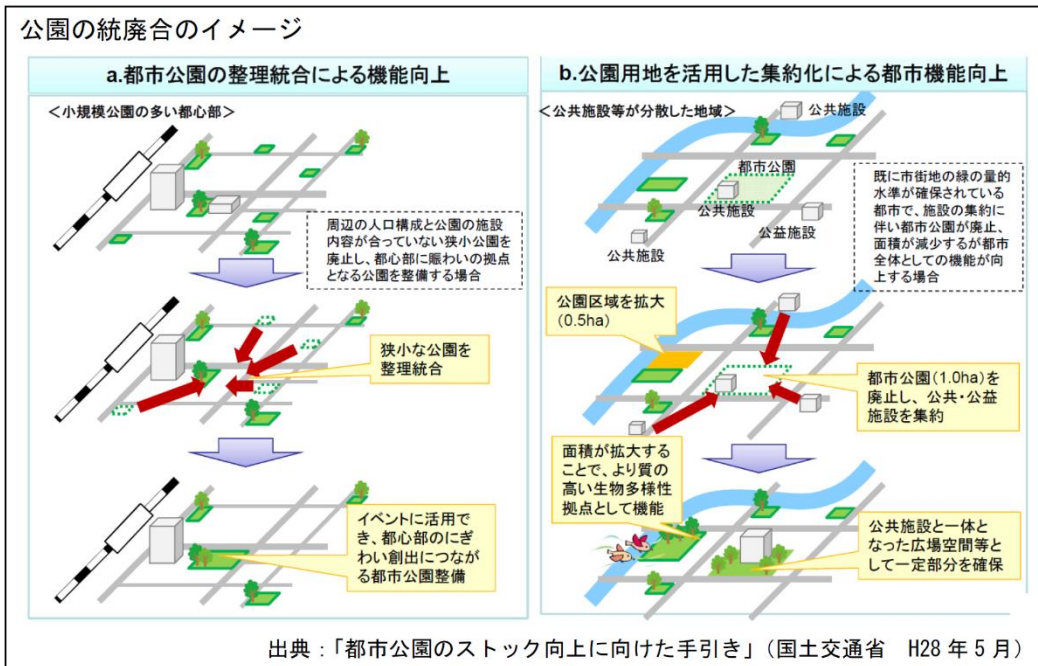
# KOBEパークリノベーションより

## ②公園区を基本とした公園の配置や統廃合の検討

公園の配置については、公園区単位で検討することを基本としますが、地区の状況、公園区内の既存公園の状況、環境面での連続性など、まちづくりの目標や地域の状況に応じて、柔軟な地域設定を行います。

また、配置の検討にあたっては、1人当たり公園面積や歩いて行ける誘致圏の分布状況に加え、地域ニーズや公園の利用状況などに配慮しながら検討します。

- ・ 既存公園の利用状況、地域ニーズなどを踏まえ、機能の再編・再整備を進めます。
- ・ 公園区における公共施設整備、小学校の統廃合など、関連する事業とも連携しながら再編に取り組みます。



## (3) 多様な主体との連携による公園の機能向上

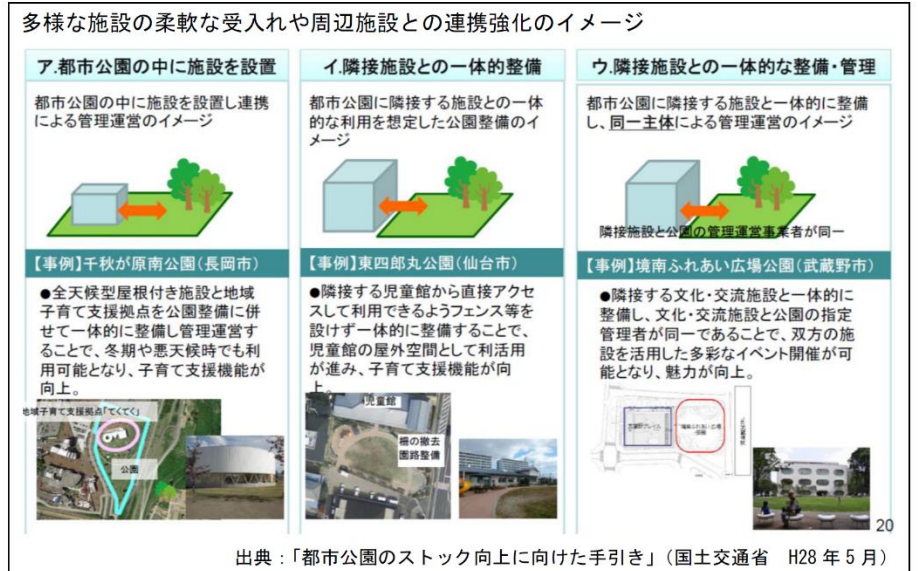
### ①多様な施設の柔軟な受入れ

これまで、都市公園法の公園施設の位置づけができるものを、公園内に受け入れてきました。今後は、公園機能の向上につながることを前提として、教育、福祉、観光、農業等の他分野との連携や保育所等に代表されるような他分野の施設の柔軟な受け入れを検討します。

### ②公園と周辺施設との連携強化

公園の機能を一層充実させるには、公園単体での機能整備や運営の改善だけではなく、公園に隣接する公共施設、都市施設など周辺施設との連続性を強めることが重要となります。

そのため、公園の開放性を高め、学校や地域福祉センターなどの施設との連続性を高める機能整備について検討します。





# 大規模公園ビジョンより

## 【基本方針4】

### 持続可能な公園運営を 実現するための改革と連携



持続可能な公園運営を実現するために“民産学官”（市民団体、民間事業者、教育・研究機関、行政）など多様な主体との協働や連携により、将来に渡り持続可能な管理運営の仕組みをつくります。  
また、選択と集中の観点による公園の見直しにより、社会の情勢やニーズに対応します。

#### <施策展開の具体例>

- ① 民間活力を導入することで利用者サービスの向上と維持管理の効率化を図ります。
  - ・民間活力導入による公園施設の質とサービスの向上
  - ・民間のノウハウを活用した効果的な運営方法や料金体系の構築
  - ・DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進による公園利用者の利便性の向上
- ② 地域や市民団体との協働により愛着を感じる公園に育てます。
  - ・地域団体との協働による公園運営や公園内での活動を通じた情報発信
- ③ 教育・研究機関との連携により公園資源の価値を高めます。
  - ・動植物や歴史文化、景観や災害の記憶など大規模公園の有する多種多様な資源を研究機関の研究・実験の場として活用
  - ・大学や研究機関との連携による科学的知見の蓄積や知的財産の活用による新技術の導入
- ④ 人口減少等社会情勢の変化に合わせて施設や管理方法を改善します。
  - ・低利用な施設について用途の見直し（縮小・廃止・転活用等）
  - ・人口減少社会にあわせた持続可能な管理手法の導入（選択的管理<sup>(※1)</sup>・順応的管理<sup>(※2)</sup>の導入）

(※1) 選択的管理…これまでの管理水準に対して、管理水準の抑制や従来の自然的土地利用への緩やかな変換を選択することで、人口減少による土地利用面積の減少や労働力の縮小に対応する管理手法

(※2) 順応的管理…これまでの管理方法に対して、植物や生きものなどの環境や継続的なモニタリングの結果により管理の頻度や時期を適宜改善しながら行う管理手法

- ⑤ 時代のニーズを捉えて用途や区域を見直します。
  - ・山林区域における公園整備から緑地保全への転換
  - ・必要性や実現性の低い都市計画公園の区域の見直し
  - ・都市機能の再編と連動した公園機能の転換や見直し



(しあわせの村冒険アドベンチャーパーク)



(離宮公園と神戸女子大学とのコラボレーション  
はちみつ料理共同開発)

# 今回ご意見いただきたいこと

○公園再整備を考えるときに考慮すべきこと

○各再整備計画において考慮すべきこと

- ・防災機能

- ・景観

- ・隣接施設との連携

ほか

# 事例①：王子公園（総合公園）再整備

面積：191,500㎡

種別：総合公園

所在地：灘区王子町2・3丁目、青谷町1丁目

概要（再整備基本方針より）：

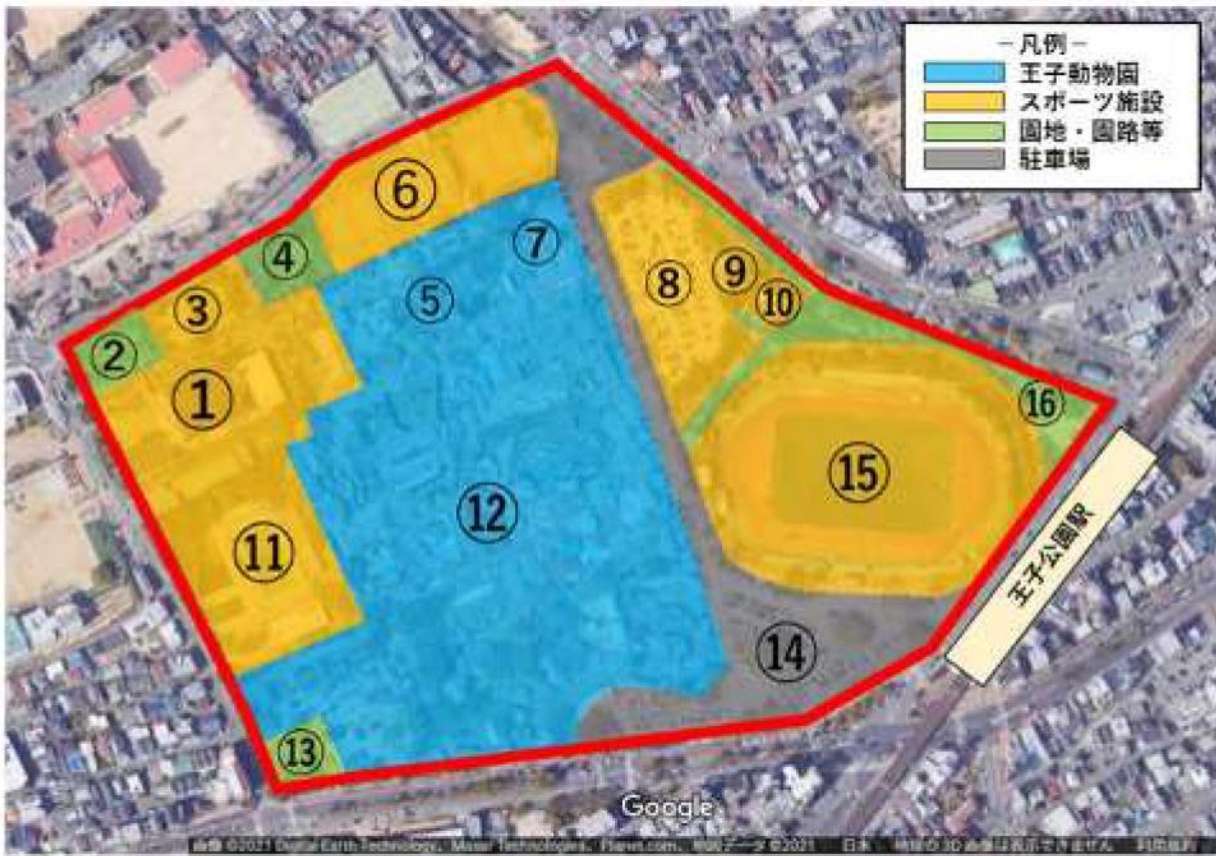
阪急王子公園駅周辺は六甲山系の美しい山並みを背景とした阪神間を代表する景観が広がり、良好な住環境が形成されている。

文化施設や教育施設、スポーツ施設が集積する学術・文化のまちとして発展を遂げてきた。

一方で、施設が老朽化しており時代の変化への対応が求められており、利便性が高い文教エリアのポテンシャルを十分に活かせていないという課題がある。

そこで、再整備により、文教都市・神戸としての地位を高め、王子公園エリアの新たな価値を創出するために大学誘致を行い、王子動物園をはじめとする公園内の施設を適切に維持・更新し、将来の世代へ継承していく。





その他施設	②	③	④	⑤	⑦
	ちびっこ 広場	弓道場	わんぱく 広場	北獣舎 (動物園)	旧ハン ター住宅
	⑧	⑨	⑩	⑬	⑯
	補助 競技場	相撲場	神戸登山 研修所	神戸 文学館	原田 児童館

# スケジュール（予定）

★ 市民のみなさまからご意見をいただく機会です。

2022.12

2023年度～

再整備基本方針の策定

動物園リニューアル  
基本構想の策定

★  
市民  
ヒアリング

基本計画の検討

再整備基本計画（素案）  
の策定

王子動物園

スポーツゾーン

緑の広場

駐車場

他

★  
市民意見募集

再整備基本計画の策定

再整備



# 王子公園再整備基本方針

ゾーン名称	ゾーニングの考え方
動物園ゾーン	現在の場所で同程度の敷地面積を確保
大学ゾーン	緑の広場に隣接して配置し、開放的な空間を創出
スポーツゾーン	既存の体育館や弓道場が立地する公園北側に集約
緑の広場	開放的な空間として駅前に整備
シンボルプロムナード	緑の景観軸として、緑の広場と各ゾーンを結ぶ遊歩道を整備
駐車場	補助競技場の位置に集約し、公園東側に駐車場への進入路を確保

## ゾーニング





# 全体計画平面図（案）



- ←---→ 主な歩行者動線
- ←---→ 駐車場進入路
- ←---→ 緊急車両動線

駐車場

スポーツゾーン

東側の園地・園路

スポーツセンター

大学ゾーン

動物園ゾーン

シンボルプロムナード

緑の広場

王子公園駅との動線

灘駅との動線



# スポーツゾーン

わんぱく広場



出典：平塚市総合公園



ちびっこエリア

出典：武雄競輪場公園



3on3 バスケットコート

出典：富山市総合体育館



広場

出典：西宮鳴尾浜



弓道場

多目的な広場

多目的な広場

登山研修所

バックヤードエリア



# 緑の広場・シンボルプロムナード

大学

防災機能、にぎわい施設や  
イベント空間を確保した開放的な空間





緑陰を確保しながら、安全で快適に散策やジョギングができる空間



休憩施設





# 立体駐車場

## 立体駐車場(イメージ)



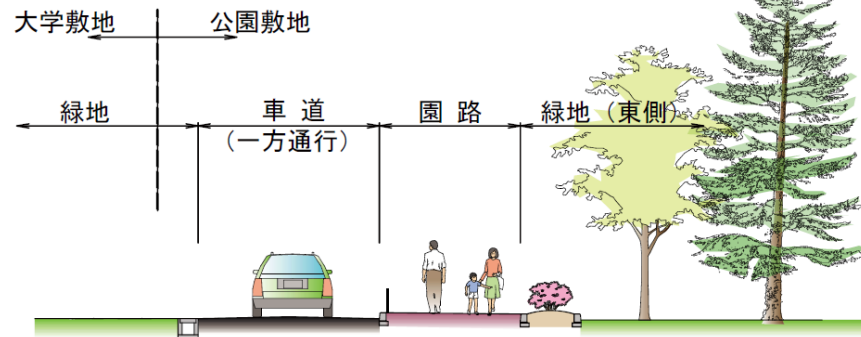
## 屋上テニスコート(イメージ)



## 景観に配慮した 建物デザイン

駐車場  
(一般車・バス)  
屋上テニスコート

## 駐車場アクセス道イメージ



## バス駐車場(イメージ)



- ← 主な歩行者動線
- ← 駐車場進入路
- ← 緊急車両動線

シンボルプロムナード



## 目指すべき方向性(概念図)

六甲の豊かな緑を感じ  
動物と人がいきいきと過ごしながら、  
世界につながる動物園

### 『まもる』

1. 種の保存など、生物多様性保全に貢献する動物園



### 『まなぶ』

2. 動物を通して自然や環境への扉をひらく教育の推進



### 『ふかめる』

3. 希少動物の保全や動物福祉の向上に資する調査・研究の推進



### 『たのしむ』

4. 誰もが安全に安心して楽しめる憩いの場の創出



### 『はぐくむ』

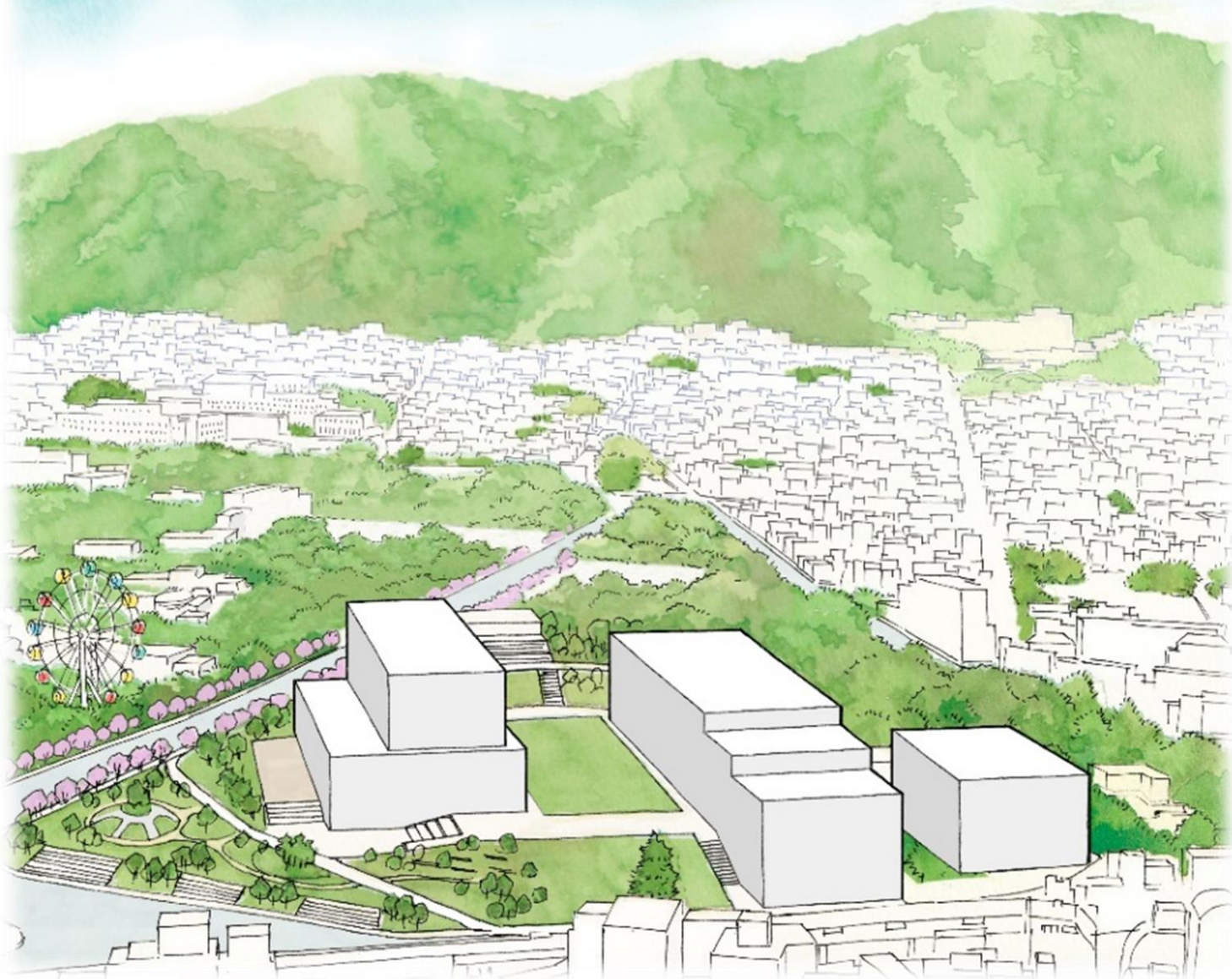
5. 市民・地域・来園者と共に歩み行動する動物園





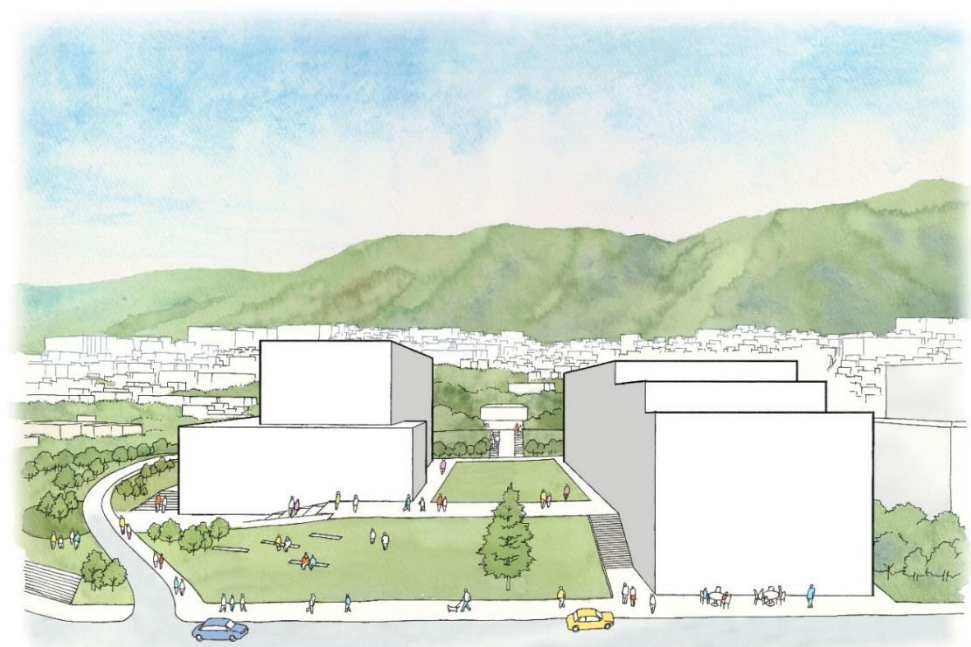
何れも提案段階の素案であり、詳細な仕様は今後あらためて検討し具体化する予定です。  
また、王子公園部分の整備内容や樹木配置等は優先交渉権者がイメージしたものであり、  
市が検討を進めている整備内容等を示したものではありません。

## キャンパスのイメージ



緑の広場・シンボルプロムナードと一体となる

地域に開かれたキャンパス

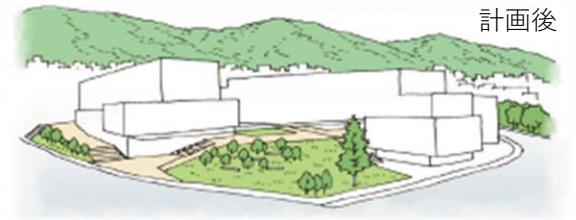
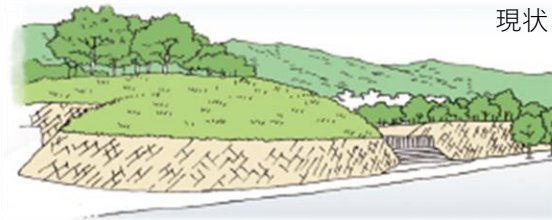




緑の広場から芝生の丘、中庭、散策の庭を  
緑のネットワークでつなぎ、一体感を創出



○ 石積擁壁をなくし、緑の斜面に



○ 周辺の緑地空間とシームレスに繋がる開放的なキャンパス



○ 開放するキャンパス内の施設



### ▶ レストラン

眺望を楽しみながら食事を楽しめるレストランを計画



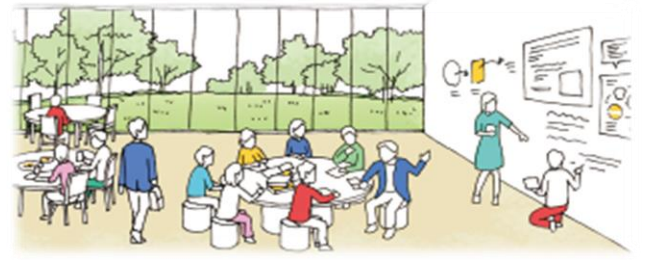
### ▶ まちライブラリー (図書館)

市民が利用できる大学図書館「まちライブラリー」を検討



### ▶ テラス

周辺の緑がキャンパスのテラスの緑と立体的に連続する空間を計画



### ▶ オープンラボ

学生と市民等が集う、学びと交流のプラットフォームを形成

何れも提案段階の素案であり、詳細な仕様は今後あらためて検討し具体化する予定です。また、王子公園部分の整備内容や樹木配置等は優先交渉権者がイメージしたものであり、市が検討を進めている整備内容等を示したものではありません。



## 事例②：若松公園（近隣公園）再整備

面積：16,100m<sup>2</sup>

種別：近隣公園

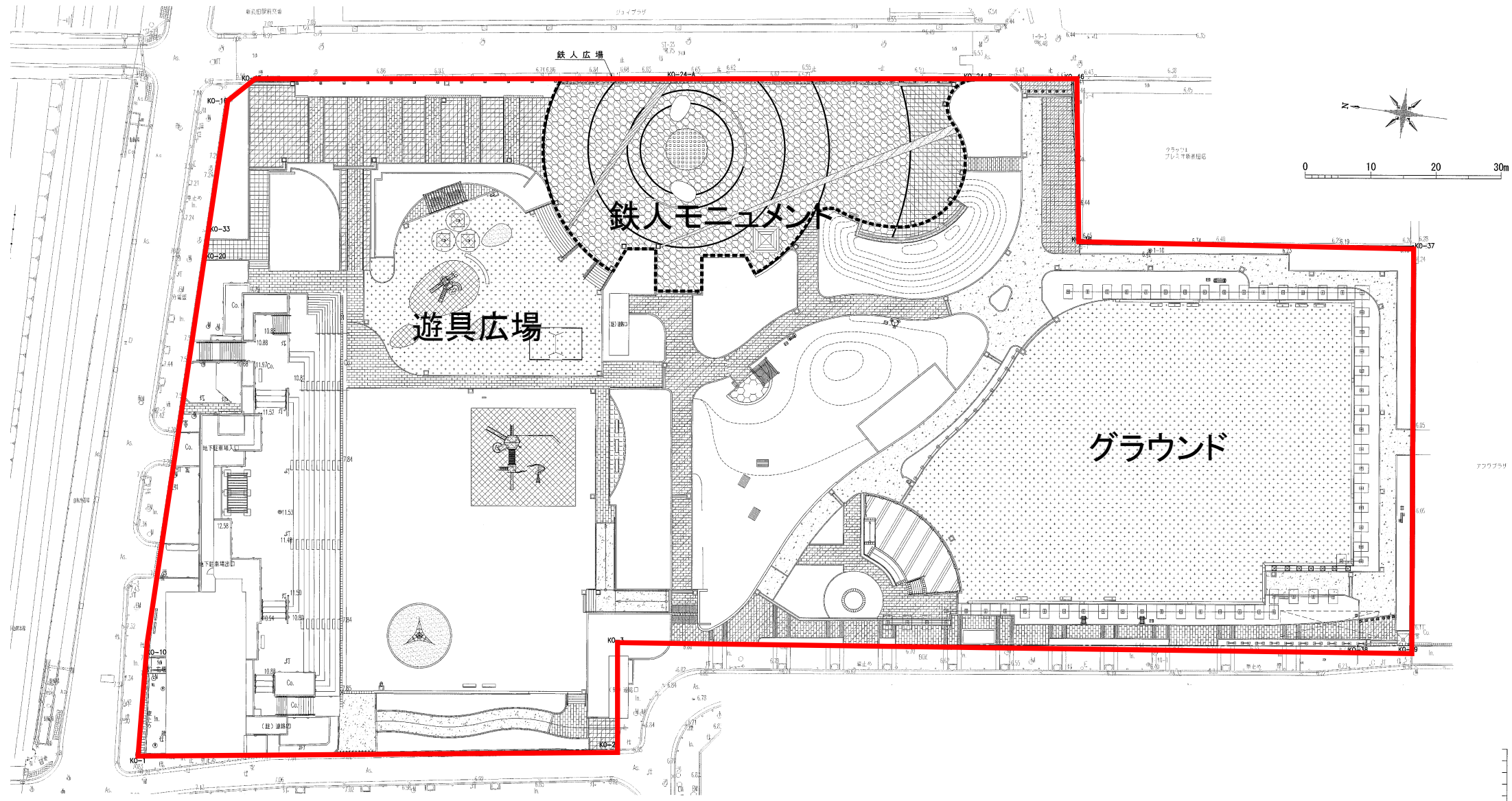
所在地：神戸市長田区若松町6丁目45 日吉町1丁目10, 2丁目1

概要（新西市民病院整備基本構想・同基本計画より）：

神戸市立医療センター西市民病院は、施設の老朽化や医療の高度化・複雑化、また感染症への対応強化を図るため、若松公園への移転を計画している。

移転に際しては、市街地西部の中核病院としての機能はもとより、地域に開かれた病院として、雨天時でも子どもが遊べる交流スペースや利便施設（カフェ等）を整備するほか、災害対応病院として、災害時に求められる十分な施設・設備を整備し、公園との一体的な活用によって地域の災害対応機能を強化する。

# 若松公園現況図

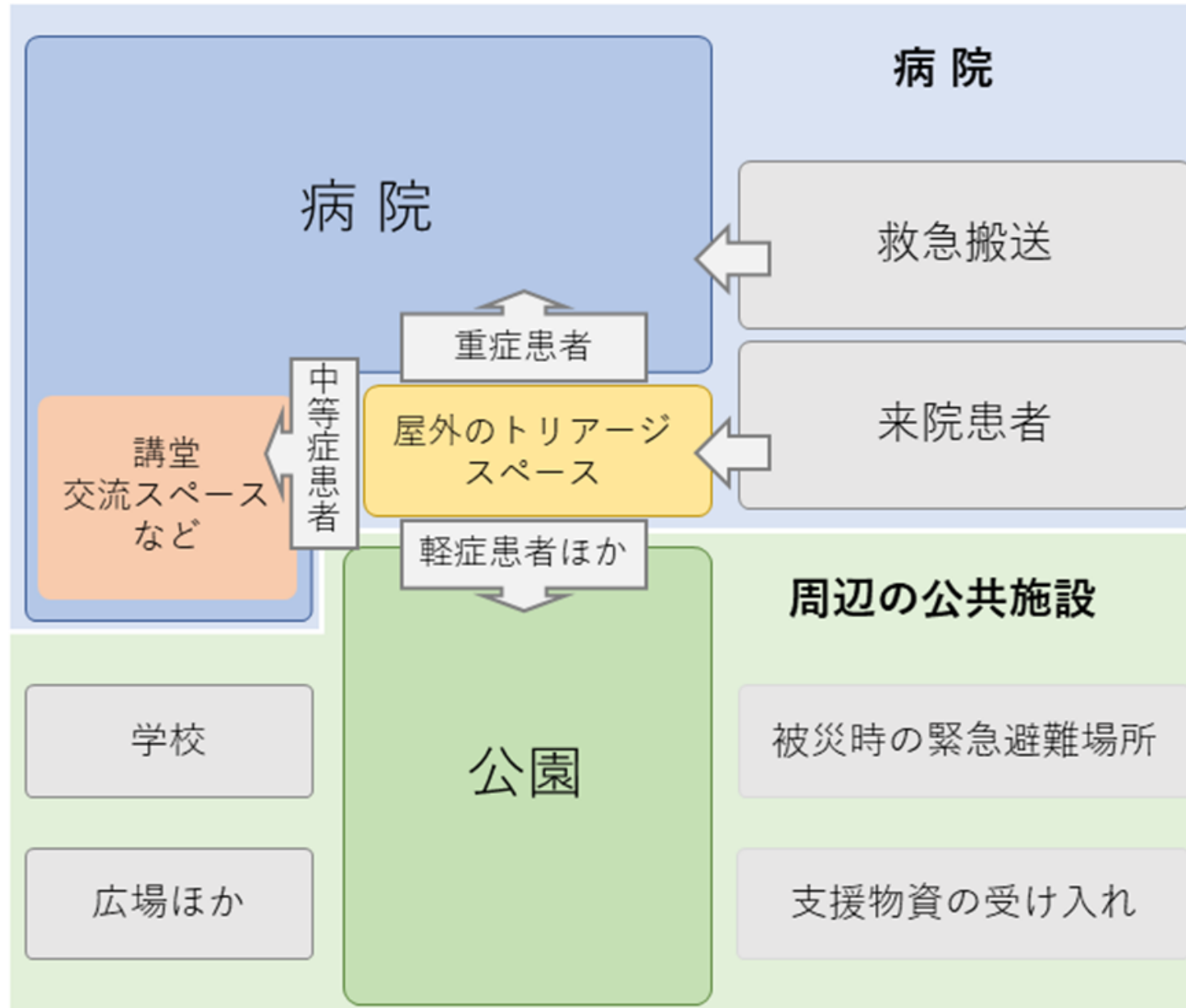




# 基本計画(R5.2)建物配置計画図



# 災害時における病院・公園を含む周辺の公共施設との連携概念図







基本構想(R3.11)時のイメージパース